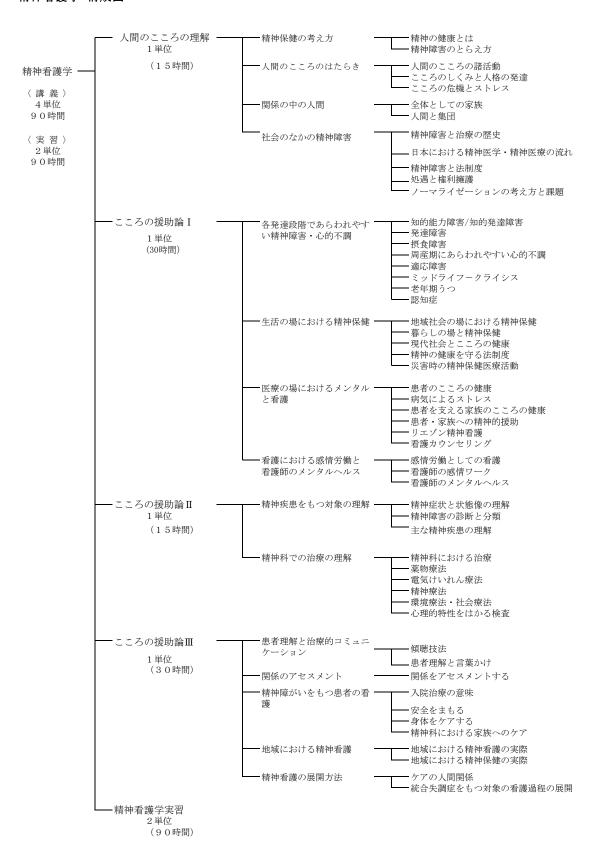
第一看護学科 精神看護学

- 目 的 人間のこころの発達および人間のライフサイクルにおけるこころ の健康を脅かす要因を理解し、社会生活を営むためのこころの健康 維持・増進をはかる方法を学ぶ。また、精神に障がいをもつ対象およびその家族への援助に必要な基礎的知識・技術・態度を養う。
- 目標 1 人間のこころの発達およびこころの健康について理解できる。
 - 2 こころの健康を脅かす要因を理解し、社会生活を営む対象のここ ろの健康問題について理解できる。
 - 3 精神に障がいをもつ対象の置かれてきた歴史的変遷、社会的背景 が理解できる。
 - 4 精神に障がいをもつ対象を取り巻く保健・医療・福祉を統合的に 理解し、看護の責任と役割が理解できる。
 - 5 精神に障がいをもつ対象を全人的に把握するため、対象との関わりを通して自己を洞察し、精神看護における患者-看護師関係が 理解できる。
 - 6 精神に障がいをもつ対象および家族への援助に必要な基礎的知 識・技術・態度を習得できる。
 - 7 社会環境と個人の精神活動の関係を学び、「こころの病」の回復・ 社会復帰のためにノーマライゼーション社会への課題を考えるこ とができる。

精神看護学 構成図



授業科口)	し間のこころの理解	担当教品	専任教員☆ 野口 健太	単位数	1	時	1	1年次 月~3月	
目			員		時間数	1 5	期			
目的と目標	的 与え刀、硃越を子か。									
回数		学習課題		内 容			方	法	担当教員	
1	精神	保健の考え方) 精神の健康とは) 精神障害のとらえ方			諱	義	専任教員	
2 3 4	人間	のこころのはたらき	(2) 人間のこころの諸活動 () こころのしくみと人相 ①精神分析と精神力動理 ②エリクソンの漸成的発 ③対象関係論 () こころの危機とストロ ①危機理論とストレス理 ②ストレスへの対処 ③心的外傷と生存者の心 ④回復を支える力	格の発達 論 達理論 レス 論		講	義義		
5	関係	の中の人間	(1)全体としての家族(2)人間と集団					義		
6 7			(1)精神障害と治療の歴史(2)日本における精神医学・精神医療の流れ(3)精神障害と法制度(4)処遇と権利擁護(5)ノーマライゼーションの考え方と課題				講	義		
8	試験	(1時間)	(1)筆記試験			討	代験		
評価	評価方法 筆記試験 100 点									
系看 専門 精神看護の基礎 精神看護学① (医学書院) 参考文献と 系看 専門 精神看護の展開 精神看護学② (医学書院) 資料 新体系看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論 精神保健(メヂカルフレンド社) 配付資料										
事が準備や 受講要件等 適宜、提示する課題について、期限を厳守して提出する。										
	担当教員 看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業を展開する。									

授業		- In 19	担当	専任教員☆ ①野口 健太	単位数	1	時		2 年次		
授業科目		こころの援助論Ⅰ	当教員	□ 外部講師☆ 員 ②星 祐子	時間数	3 0	期	6.	月~10月		
	-	ライフサイカルレル洋の	 日.1ァ +	 いけステァスの健康問題し	· 松	ついて学り	· K - 7-	上△井、	圧な去うてた		
目的と目標	めの	ライフサイクルと生活の場におけるこころの健康問題と発生要因について学び、社会生活を支えるための看護の役割が理解できる。 医療の場におけるメンタルヘルスと看護および看護師のメンタルヘルスついて学ぶ。									
と目				ろの健康問題およびその							
標	2	様々な生活の場における	5 Z Z	ろの健康問題およびその	発生要因が	理解できる	0				
	3	医療の場におけるメンタ	ノレヘ	ルスと看護および看護師	のメンタル・	ヘルスが理	解で	きる。			
回数	h 3	学習課題	1.		容			法	担当教員		
1 2 3		ě達段階であらわれや 精神障害・心的不調	す	(1) 知的能力障害/知的 (2) 発達障害 (3) 摂食障害	D発達障害		請	葬義	専任教員		
				(4) 周産期にあらわれ³(5) 適応障害		不調					
				(6) ミッドライフーク	ライシス						
				(7) 老年期うつ(8) 認知症							
				(0) 於邓姓							
4 5		舌の場における精神保領 1 時間)	ŧ	(1) 地域社会の場にお(2) 暮らしの場と精神	詩	義					
6 7	,			①学校と精神保健							
8				②職場と精神保健							
9				(3)現代社会とこころ①精神保健が関与							
				(4)精神の健康を守る		7. 生况家					
				(5) 災害時の精神保健							
1 0	医療	寮の場におけるメンタ	1 (9) 医气にとる フェレフ					葬義	外部講師		
1 1	~)	レスと看護						【星 祐	(星 祐子)		
1 2 1 3		(3) 患者を文える家族のこころの健康 (4) 患者・家族への精神的援助									
1 0				(5) リエゾン精神看護							
				(6) 看護カウンセリン							
1 4		護における感情労働と	看	(1) 感情労働としての	>		請	葬義			
1 5	護師	市のメンタルヘルス		(2) 看護師の感情ワー							
				(3) 看護師のメンタル	~~ <i>/\\\</i>						
	試験(1時間)			(1) 筆記試験			痯	代験			
評価法	法	筆記試験 100 点(1~9	回:	60 点、10~15 回:40 点	()						
参考文	 献と			姓 精神看護学① (医学							
系看 専門 精神看護の展開 精神看護学② (医学書院) 新体系看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論 精神保健 (メヂカルフレンド社)						/ -}					
		机 件术有護子至青 精	仲有詞	度子 山 有仲有護子慨論	有仲保健	(メナガ)	レノし	ノノド	<u> </u>		
事前準 受講要		適宜、提示する課題に	こつい	て、期限を厳守して提出	出する。						
☆担当の実務	当教員 ①②看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業を展開する。										
- 40,31	~ `										

授業科目	 こころの援助論Ⅱ	担当教員	外部講師☆ ①安楽 一隆	単位数	1	時	2年次
科 目	ここのの援助端Ⅱ	教員	②堀 智哉	時間数	1 5	期	10月~12月
目的と目標		正状・経過	こついて学ぶ。 ・治療が理解できる。 と対象への影響が理解で	きる。			

標	2 精神科治療および検査の特徴と対象への影響が理解できる。								
回数	学習課題	内 容	方 法	担当教員					
1 2 3 4	精神疾患をもつ対象の理解	 (1)精神症状と状態像の理解 ①精神障害の医学モデル ②症状と状態像 (2)精神障害の診断と分類 ①DSMとICD分類 (3)主な精神疾患の理解 ①統合失調症 ②気分[感情]障害[双極性障害および関連障害群、抑うつ障害群] ③神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害 ④生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 ⑥パーソナリティー障害 ⑦てんかん ⑧器質性精神病 等 	講義	外部講師(安楽 一隆)					
5 6	精神科での治療の理解	 (1)精神科における治療 (2)薬物療法 (3)電気けいれん療法 (4)精神療法 ①個人・集団療法 ②認知行動療法 (5)環境療法・社会療法 ①作業療法 ②生活技能訓練 ③芸術療法 	講義						
7		(6) 心理的特性をはかる検査 ①精神科で用いられる心理検査の目的、種類、 方法	講義	外部講師 (堀 智哉)					
8	試験(1時間)	(1) 筆記試験	試験	外部講師(安楽 一隆)					
評価力	法 筆記試験 100 点								
参考文章	歌と 系統 専門 精神看	護の基礎 精神看護学①(医学書院) 護の展開 精神看護学②(医学書院) 精神看護学①精神看護学概論 精神保健(メヂカルフ	レンド社)	配付資料					
事前準受講要	1箇年 提示する課品	夏について、期限を厳守して提出する。							
☆担当 の実務		関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。							

			専任教員☆ ①野口 健太	単位数	1		
授業科目	こころの援助論Ⅲ	担当教員	外部講師☆ ②吉村 譲 ③堀江 真由美 ④医療機関看護師 ⑤保健師	時間数	3 0	時期	2年次 11月~3月

患者ー看護師関係の成立・発展に必要な知識技術を学習し、精神障がいをもつ対象及び家族との関わ方 と地域生活支援システムについて学ぶ。

1 患者-看護師関係の成立・発展過程およびその方法が理解できる。

I的と目標

- 2 精神疾患をもつ対象に起こりやすい生活障害と看護の基礎となる考え方が理解できる。
- 3 精神障がいをもつ対象とその家族の生活を支える資源・制度とケアの方法が理解できる。

	4 事例をとおして対象の問題状況を把握し、関わり方を考えることができる。									
回数	学習課題	内 容	方 法	担当教員						
1 2	患者理解と治療的コミュニケーション	(1) 傾聴技法①共感的理解②傾聴技法(2) 患者理解と言葉かけ①聞くと聴く②励ましと共感③ティーチングとコーチング	講義演習	外部講師 (吉村 譲)						
3	関係のアセスメント	(1) 関係をアセスメントする ①プロセスレコードを用いたアセスメントの実際	講義	外部講師(堀江真由美)						
4 5 6	精神障がいをもつ患 者の看護	(1)入院治療の意味①入院のかたち②精神科病棟の特徴③入院中の観察とアセスメント④観察とアセスメントの方法⑤治療の場におけるリカバリーの試みと看護の視点⑥退院に向けての支援と実際	講義							
		(2) 安全をまもる①リスクマネジメントの考え方と方法②リスクマネジメントと行動制限③緊急事態への対処④院内を中心とした災害時のケア	講義							
		(3) 身体をケアする ①精神科における身体ケア ②精神療法としての身体のケア ③日常から気をつけておきたい身体合併症 ④精神科における身体ケアの実際	講義							
		(4)精神科における家族へのケア①家族の体験②家族を支える資源、サポート、ケア	講義							

				,		
7	地域における精神看護	(1) 地域における精神看護の実際 ①精神障がいをもちながら地域で暮らす対象の支援 ②地域で生活するための原則 ③生活を支えるための社会資源・サービス ④地域での看護の実際				
8		(2) 地域における精神保健の実際 ①精神障がい者の地域生活支援の現状 ②精神障がい者のニーズに応じた地域生活支援の展開 ③地域生活の中断を防ぐための支援の展開 ④地域における早期支援の重要性と支援		外部講師(丹羽由香里)		
9 1 0 1 1 1 2 1 3 1 4 1 5	精神看護の展開方法 (13時間)			専任教員		
		①事例のアセスメント②ストレングスのアセスメント③看護計画の立案				
	試験(1時間)	(1)筆記試験	試験	専任教員		
評価力	法 統合失調症をもつ	3~6 回:40 点、9~15 回:40 点) 患者の看護過程の展開 事例展開 20 点(9~15 回) 試験 100 点で評価する。				
参考文章	新た 系看 専門 精神 系看 別巻 精神	看護の基礎 精神看護学① (医学書院) 看護の展開 精神看護学②(医学書院) 保健福祉 (医学書院) 精神看護学① 精神看護学概論 精神保健(メヂカルフ	レンド社)			
事前準備や 受講要件等 適宜、提示する課題について、期限を厳守して提出する。						
受講要件等						